

- 上級編 - 英書精読への招待



平成 30 年 4 月 28 日 (土) 15:00~17:00

場所：本館 4 階 会議室

「臓器移植における死の定義」や「終末期患者の看取り」などについて書かれたポール・ラムジーの著書を原文（英語）で読み、一緒に考えてみませんか？

◇対象◇ 教職員（非常勤を含む）、大学院生、学部学生

◇講師◇ 梶形 公也（武庫川女子大学名誉教授 元MFWI 副学長
日本医学哲学倫理学会 元会長）

Paul Ramsey (ポール・ラムジー): *The Patient as Person, Exploration of Medical Ethics, Second Edition with a new foreword by Margaret A. Farley and essays by Albert R. Jonsen and William F. May*, Yale University Press, 1970.

Paul Ramsey はメソジスト派の神学者・倫理学者。

彼の著書、*Nine Modern Moralists* は『現代の実存と倫理』（世界思想社）というタイトルで邦訳されている。

本書は医師と患者との間の「誠実さの原則」を強調。臓器移植や死の定義、死にゆく患者の看取りになどにおいて、個人の不可侵や人格間の誠実さを常に主張している。

生命倫理学の著者として一つの古典になっている。

その概要はアルバート・R・ジョンセン『生命倫理学の誕生』（細見博志訳、頸草書房）の第2章 62-68 頁で紹介されている。

申し込み方法（資料準備の都合上、初めて参加される方のみお申し込みください）

female_r@mukogawa-u.ac.jp

件名に「精読会申込（上級）」本文に「氏名、所属」をご記入の上、4月 27日 12:00 までに送信してください。